



普通科1年生が南海トラフ地震・SDGsについて学びました！！

9/18(水)に和歌山県総務部危機管理局防災企画課と和歌山市総務局企画部企画課企画計画班の方、2名に来校して頂き、普通科1年生が体育館で南海トラフ地震とSDGs [Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)] について学びました。これは、生徒たちがこれから『エ



ネルギー・防災・環境』のテーマで課題研究を行っていくため、和歌山県や和歌山市の現状について理解を深める目的で行われました。『これから KECRe I (課外研究) の時間では、「防災」について調べていくので、何を課題にするかなどのヒントが得られてよかった。』『正直、SDGs は僕には関係ないんじゃないかと思っていたけど、講演を聞いて一人ひとりがコツコツと取り組んでいかなくちゃいけないことだということがよくわかった。』といった感想を生徒は書いており、自分事としてどちらも真剣に考えているようでした。



SS環境の授業でホームプロジェクトの発表を行いました！！

9/20(金)のSS環境の授業の中で、ホームプロジェクトの発表を行いました。ホームプロジェクトは、家庭生活を健康で文化的に営むことのできる能力、すなわち生活課題を自分たちで見つけ、解決し、生活を創造することのできる能力を身につけていくことを目的としています。本校環境科学科では、SS環境の授業でホームプロジェクトは毎年行っており、夏休みを利用して、自分の考えたプロジェクトを実践し、そこで得た気づきや学びをまとめて発表しています。鈴木校長先生も見に来てくれ、生徒たちはより一層力が入っているようでした。



NASA Space Apps Challenge KUSHIMOTO で審査員特別賞！！

和歌山県串本町に日本初の民間ロケット発射場が建設されることもあり、10/19(土)、20(日)に県立潮岬青少年自然の家でNASA Space Apps Challenge KUSHIMOTO が開催されました。Space Apps Challenge とは、米国のNASA が毎年主催する世界同時ハッカソンで、NASA が公開しているオープンデータを使用したアプリケーションの開発を競いあいます。2018年は世界中の75カ国200会場において18,000人が参加し、福島県会津若松市、東京都、愛知県豊橋市、大阪市、神戸市、山口県宇部市の計6会場で開催されました。今回串本では県内外から高校生が参加し、アプリケーション開発を競



いました。本校から物理部の4名が参加し、審査員特別賞を頂くことができました。MBS や関西テレビのニュースでも今大会は紹介されました。プログラミングに興味のある人は、来年ぜひ参加してはどうでしょうか。